

山口県感染症発生週報

(第16週:平成24年4月16日～4月22日)

1 全数把握感染症

【2類感染症】

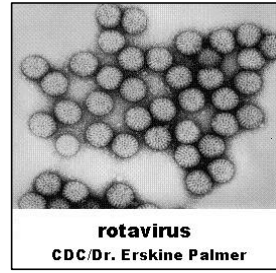
◆結核: 第15週追加:2例(宇部2例)。第16週:4例(下関2例、周南、宇部)。

【3類感染症】

◆腸管出血性大腸菌感染症: 第16週:1例(宇部 O157;VT1VT2)。

【5類感染症】

◆劇症型溶血性レンサ球菌感染症: 第16週:1例(岩国)。



2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

◆インフルエンザ: 患者報告数はほぼ横ばい状態で推移しています。迅速検査では、A型陽性40例、B型陽性86例、臨床診断6例で、B型がA型を上回っています。また当所で、第15週の検体についてPCR検査を行った結果、AH3(香港型)が1例検出されています。

◆感染性胃腸炎: 萩、周南、山口は他地域と比較して多くみられます。特に萩は急増し、周南に続き今週警報レベルとなりました。【警報レベル=萩(新)、周南(6週目)】※

◆伝染性紅斑: 周南は警報レベルが続いています。【警報レベル=周南(14週目)】※

◆流行性耳下腺炎: 長門は警報レベルが続いています。【警報レベル=長門(20週目)】※

※警報レベル・注意レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/ivoho/report2011/keihotvuuho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	14週	15週	16週	疾患名	14週	15週	16週
インフルエンザ	135	151	132	百日咳	0	3	0
RSウイルス感染症	29	21	18	ヘルパンギーナ	2	4	14
咽頭結膜熱	7	14	21	流行性耳下腺炎	52	38	79
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	98	112	91	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	460	599	606	流行性角結膜炎	5	1	0
水痘	74	72	54	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	2	0	0	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	16	28	22	マイコプラズマ肺炎	3	3	6
突発性発しん	29	31	37	無菌性髄膜炎	0	0	1

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	15	58	1	17	5	15	3	0	18	132
RSウイルス感染症	2	3	1	1	0	0	2	8	1	18
咽頭結膜熱	3	8	0	6	0	1	0	3	0	21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	30	3	4	27	5	10	7	0	5	91
感染性胃腸炎	81	41	15	175	26	85	75	27	81	606
水痘	10	8	1	9	9	7	9	0	1	54
手足口病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	1	0	0	18	0	3	0	0	0	22
突発性発しん	9	1	1	12	1	6	4	0	3	37
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	3	0	0	0	0	0	11	0	0	14
流行性耳下腺炎	29	4	3	2	2	1	1	37	0	79
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	2	0	1	0	2	1	0	0	6
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

3 その他

・ロタウイルスによる胃腸炎の報告は先週と比べてやや減少しましたが、かなり多い状況が続いています。例年4月頃に多くなっていますので、引き続き注意が必要です。

※平成24年5月1日に追加報告がありましたのでデータを一部修正しました。